第9表-1 令和3年度(2021年度)総合支援・労働相談等 実施状況

	総	合 受	·····································		総合支		労 働	相	談(	賃	金 未		• 5	条 件	違 反 )
			ר ויז			1 1	相		談	終	T	結	T	状	況
	カード	I	合計	新 規 相 談	継 相 説			継続	合 計	解決	中止	(内、条件違 反)	繰越		金額(判明分)
	新規	再 発 行		相 談	相談	슴 計	新規	(延数)				及)		件 数	金額
4月	61	18	79	6	51	57	15	17	32	13	0	2	4	3	52,400
5月	53	10	63	10	57	67	8	4	12	9	0	0	3	1	5,000
6月	49	14	63	8	76	84	16	19	35	16	3	1	1	2	23,180
7月	31	6	37	5	38	43	12	5	17	10	1	0	2	0	0
8月	40	11	51	6	68	74	8	13	21	8	1	1	1	1	0
9月	34	12	46	9	81	90	14	11	25	11	0	0	4	1	3,200
10月	75	11	86	5	61	66	17	32	49	17	0	1	5	3	102,156
11月	38	13	51	9	80	89	16	13	29	19	1	0	1	4	60,661
12月	31	6	37	9	63	72	10	9	19	9	1	0	0	0	0
1月	32	13	45	2	56	58	9	0	9	9	0	0	0	0	0
2月	21	9	30	4	54	58	7	0	7	7	0	0	0	0	0
3月	45	13	58	9	62	71	11	6	17	9	0	0	1	2	28,990
年度合計	510	136	646	82	747	829	143	129	272	137	7	5	1	17	275,587
前年度計	629	169	798	98	747	845	138	134	272	131	10	2	2	23	661,765
前年度比	-18.9%	-19.5%	-19.0%	-16.3%	0.0%	-1.9%	3.6%	-3.7%	0.0%	4.6%	-30.0%		-50.0%	-26.1%	-58.4%
前々年度計	612	173	785	88	464	552	176	169	345	166	4	0	3	31	552,747
前々年度比	-16.7%	-21.4%	-17.7%	-6.8%	61.0%	50.2%	-18.8%	-23.7%	-21.2%	-17.5%	75.0%		-66.7%	-45.2%	-50.1%
年度計画				100	500		150	150							

2016年度より総合受付の生活保護要件確認、処理票、その他欄を削除。再発行欄を追加。

第9表-2 令和3年度(2021年度)総合受付(利用者カード発行)状況

	利用者カ	ード累計
	新規	計
前年度	629	6994
4月	61	7055
5月	53	7108
6月	49	7157
7月	31	7188
8月	40	7228
9月	34	7262
10月	75	7337
11月	38	7375
12月	31	7406
1月	32	7438
2月	21	7459
3月	45	7504
合計	510	7504

<sup>\*「</sup>切替」の計数は2018年度より廃止。

### 令和3年度(2021年度) 利用者カード新規発行者の状況

来所目的	
求職	258
技能講習	149
就労支援	103
合計	510

住所(居所)	
西成区	316
大阪市内(西成区以外)	110
大阪府下(大阪市以外)	62
近畿圏 (大阪府以外)	18
その他	1
不明	3
合計	510

来所時の業種	
建築	313
運輸	16
清掃	16
警備	15
サービス	14
製造	11
	112
その他	5
不明	8
合計	510

#### 第9表-3

### 「利用者カード」発行者概況報告

はじめに ・・・・ 2020 年度末 (2021 年 3 月末) 時点での整理

センターでは、2012 年度から「利用者カード」の発行と利用者情報の集約化により、利用者の就労履歴、 資格取得状況、各種相談利用状況など分野横断的な把握や情報共有を図った。

更に、2019年仮事業所の移転に際して就労支援システムによる電子カルテ化を行い、2020年度には「就職率80%」の目標を達成するなど就業支援の充実につなげてきた。

また、新「中期運営方針(2021~2025 年度)」では、地域労働者の高齢化、生活困窮者や女性・若者・外国人の流入など地域の変化や新たな課題に対応するため地域の多様な社会資源と協働した「労働と福祉を"つむぐ" 緊密な連携」支援を新たな目標に掲げており、こうした面からも地域労働者の変化や潮流を的確に把握することが益々重要となっている。

加えて、これまで個別労働者の支援を中心に活用してきた労働者の年齢や資格、就労実績等のデータを集計・分析することで、地域労働者ニーズの面的把握やより的確な求人開拓など質の高い就労支援につなげることとした。

一方、2012 年度から電子カルテ化が定着するまでの期間に生じた誤記など手続き不備やチェック体制の不足、利用者の虚偽申込みによる重複などにより利用者カード発行件数(6,994 件)と蓄積データ件数の間に相違があり、今般、相談記録本体と突合・精査してデータ移行や誤謬修正を行いその解消を図った。

この結果、2020 年度末(2021 年 3 月末日の時点)での利用者カード(就労支援システム)の有効件数は、6,868 件となった。

更に、こうして整理された利用者 6,868 件の就労支援システムの蓄積データのうち、10 項目 (5 つの小項目を含む) についての結果 (「まとめ」) を以下のとおり報告する。

#### 10項目 (5つの小項目を含む) について

(分析項目)

- 1. 来所目的 2. 登録時の年齢 3. 登録時の「居所」の形態
- 4. 登録時の居所の所在地 5. 所持する電話の形態
- 6. 社会保険等の加入 (3項目) ①雇用保険 ②健康保険 ③建退共
- 7. 職歴(2項目) ①来所時の職業 ②建設業経験の有無

#### 1. 来所目的

来所目的	①求職	②技能講習	③就労支援	総計
件数	2,568	2,400	1,900	6,868
割合	37.4%	34.9%	27.7%	100%

センターへの来所目的は、①求職 2,568 件 (37.4%) ②技能講習 2,400 件 (34.9%) ③就労支援 1,900 件 (27.7%) となっており、3 項目はほぼ均衡している。

#### 2. 登録時の年齢分布(来所年度末における満年齢)

年齢	①20未満	220~29	330~39	<b>4</b> 40~49	<b>⑤</b> 50∼65	⑥66以上	合計
件数	72	522	801	1,582	2,693	1,198	6,868
割合	1.0%	7.6%	11.7%	23.0%	39.2%	17.4%	100%

来所時の年齢分布は、①20 歳未満 (72 件: 1.0%) ②20 代 (522 件: 7.6%) ③30 代 (801 件: 11.7%) ④40 代 (1,582 件: 23.0%) ⑤50~65 歳 (2,693 件: 39.2%) ⑥66 歳以上 (1,198 件 17.4%) となっている。

#### 3. 登録時の居所の形態

居所	アパート	簡宿	シェルター	野宿	会社寮	その他	総計
件数	3,204	1,487	679	347	211	940	6,868
割合	46.7%	21.7%	9.9%	5.1%	3.1%	13.7%	100.0%

「アポート」には一戸建、マンションなどを含む。「その他」には、「三徳寮」などを含む。

来所者の前日までの居所は、アパート (一戸建、マンションを含む) 46.7%、簡宿 21.7%、シェルター 9.9%、野宿 5.1%、会社寮 3.1%、その他 13.7%となっている。

#### 4. 登録時の居所の所在地

居所	西成区	市内	府下	近畿	その他	不明	総計
件数	4,280	1,512	766	240	49	21	6,868
割合	62.3%	22.0%	11.2%	3.5%	0.7%	0.3%	100.0%

「不明」には聴取拒否、未聴取などを含む。

登録時の居所の所在地は、西成区 62.3%、西成区を除く大阪市内 22.0%、大阪市を除く大阪府内 11.2% となり、全体の 95.5%を占める。

居	所	兵庫県	京都府	奈良県	滋賀県	和歌山県	総計
件	-数	150	36	34	16	4	240
割.	合	62.5%	15.0%	14.2%	6.7%	1.6%	100.0%

大阪府と近畿を加えると全体の99.0%を占める。近畿240件の内訳は、兵庫県が62.5%と半数以上を占め、京都府15.0%、奈良県14.2%、滋賀県6.7%、和歌山県1.6%となっている。

#### 5. 所持する電話の形態

電話種類	携帯	自宅	会社	その他	なし	総計
総計	2,567	66	9	93	4,133	6,868
割合	37.3%	1.0%	0.1%	1.4%	60.2%	100%

「その他」には、「呼出し」「知人・友人の電話」などを含む。

- (1) 連絡が付く電話が ①ある 2,735 件 39.8% ②なし 4,133 件 60.2%
- (2) (1) の①「ある」(2,735件) と答えた内訳

①携帯 2,567件 ②自宅66件 ③会社9件 ④その他 (呼出・友人・知人等) 93件

#### 6. 社会保険関係の加入状況

#### 6-1 雇用保険の加入状況

雇用保険	日雇雇用保険	日雇雇用保険	一般	± <del>ከ</del> በ  ገ	総計
の種類	あいりん	あいりん以外	雇用保険	未加入	邢心百
件数	462	184	67	6,155	6,868
割合	6.7%	2.7%	1.0%	89.6%	100%

(1) 雇用保険の加入 ①ある 713 件 10.4% ②ない 6,155 件 89.6%

(2) (1) の①「ある」(713件) と答えた手帳の内訳(割合は、総数 6,868件に対する割合)

①日雇雇用保険(あいりん職安発行)

462件 6.7%

②日雇雇用保険(あいりん職安以外で発行) 184件 2.7% ③一般雇用保険67件1.0%

#### 6-2 健康保険等の加入状況

健康保 の種类	■国民健康保険	協会けんぽ等	日雇特例	生活保護	未加入	総計
件数	1,599	110	89	254	4,816	6,868
割合	23.3%	1.6%	1.3%	3.7%	70.1%	100%

- (1) 健康保険の加入 ①ある(生活保護含む)2,052 件 29.9% ②未加入 4,816 件 70.1%
- (2) (1) の①「ある」(2,053件) と答えた手帳の内訳(割合は、総数 6,868件に対する割合)
  - ①国民健康保険 1,599 件 23.3% ②協会けんぽ等 110 件 1.6% ③日雇特例 89 件 1.3%
  - ④生活保護 254 件 3.7%

#### 6-3 建設業退職金共済制度(建退共)の加入状況

建退共	加入 (紛失含む)	未加入	総計
件数	610	6,258	6,868
割合	8.9%	91.1%	100%

#### (1) 建退共の加入

①ある 610件(紛失28件を含む) 8.9% ②ない 6,258件 91.1%

#### 7. 職業履歴に関して

#### 7-1 来所時の職業等に関して

来所時の就業状況	就業中 (有職者)	無職	不明	総計
件数	5,964	717	187	6,868
割合	86.8%	10.5%	2.7%	100%

「不明」には「未聴取を含む」

(1) 来所時の職業 ①職業あり 5,964 件 86.8% ②無職・不明 904 件 13.2%

#### (2) (1) の①「ある」(5,964件)の職業分類

現在の職業	建設	特別清掃	警備	サービス	清掃	運輸	製造	その他	総計
件数	4,242	603	179	162	148	133	124	373	5,964
割合	71.1%	10.1%	3.0%	2.7%	2.5%	2.2%	2.1%	6.3%	100%

「その他」には「古紙等の資源回収、農業、露天商等を含む」。

①建設業 4,242 件 71.1% ②特別清掃 603 件 10.1% ③警備業 179 件 3.0%

④サービス産業 162 件 2.7% ⑤清掃業 148 件 2.5% ⑥運輸業 133 件 2.2%

⑦製造業 124 件 2.1% ⑧その他(資源回収、露天商等を含む) 373 件 6.3%

#### 8-2 建設関係の職業経験の有無

建設業経験の有無	建設業の経験あり	経験なし	総計
件数	6,308	560	6,868
割合	91.8%	8.2%	100%

(1) 建設関係の職業経験 ①ある 6,308 件 91.8% ②ない 560 件 8.2%

#### 結果「まとめ」から見えてくる、西成労働福祉センターの「利用者の状況」

○ 来所目的は、①求職 ②技能講習 ③就労支援の3項目(選択肢は1つ)は、ほぼ均衡している。相談者が第一声に発した主訴を重視するため、複数にまたがる目的をあえて排している。

不安定な雇用から安定的雇用に向けて、地域や労働者ニーズの変化を捉え、それぞれの支援窓口が有機的に連携・協働した質の高い支援が求められている。

- 10~20 代の若年層の利用は全体の1割弱で、40~65歳の中高年齢者が62.2%を占め、生産年齢人口を超える66歳以上も17.4%(1,197件)となっており、センターを利用する地域労働者の高齢化に伴う就労支援の課題とともに、生活・福祉に関する支援の課題が浮かび上がっている。
- 比較的安定した居住空間が担保されていると推測されるアパートは半数に満たない(46.7%)。当地域の特徴でもある「簡宿」「会社寮」を利用する稼働層は24.8%を占めている。
  - 一方、シェルターや野宿など、極めて不安定な生活基盤は合わせて 1,026 件、15.0%となり、依然この地域の労働者にとって「住環境の確保」は大きな課題となっている。
- 登録時の居所の所在地は、直近の寝泊まりした場所を聴取しており、大阪府下が全体の95.5%を占める。不安定な生活基盤の場合は、就労支援のためどこの公的機関との連携が必要になるのかを見極める上で重要な指標となっている。

当センターがあいりん地域やその周辺において、大阪府政の雇用対策と地域労働者の支援に深くかかわっていることを反映したものと推察される。

- 労働福祉係における住民登録支援においては、長年放置した結果「職権消除」され本籍地に戻される ケースも少なくなく、西日本を中心に全国各地の公的機関への連絡・調整が必要となっている。 実質的に「住所」を持たない労働者へは、行政支援や公的サービスが直ちに提供されない状態にあり、
  - 実質的に「住所」を持たない労働者へは、行政文援や公的サービスが担らに提供されない状態にあり、 コロナ禍でのワクチン接種や特別給付金の受給などにみられた関係機関等との連携や協働が不可欠となっている。
- 日常の用に限らず、就職活動や就労にも不可欠の「電話」を持たないものが6割を超える結果となっており、知人・近親者との連絡や相談、就職活動等に支障や困難が生じていると推測される。

○ 雇用保険への加入は、来所者全体で1割程度の加入しかなく、一般雇用保険には来所者の1%(67件) しか加入しておらず、日雇労働雇用保険の加入者も全体の9.0%(646件)に留まっている。

国民皆保険制度のもとで、7割が未加入で、約3割の加入者(2,053件)のうち、3/4以上が国民健康保険被保険者(1,599件)で、安定的雇用の状態と推測される「協会けんぽ等」加入者は全体の1.6%(110件)と極めて低い状況にある。

社会保険の加入は、突然の傷病や失業、高齢や身体等の状況で就労が困難となった場合、セーフティネットとして機能するものであるが、初来所時では未加入が極めて多い状況にある。

利用者の多くが失業や働けない状況になった場合に、たちまち生活や医療サービス等に支障を生じることが予測され、福祉や生活面を支援する地域の社会資源と協働した支援が重要となっている。

- センター利用者の多くが建設関係業に従事している中で、「建退共」への加入は1割に満たない。退職 時の退職金としてまとまった手元資金を得ることができず、当面の生計や将来の見通しも立たない状況 に陥ると推察される。
- 来所者の職業に関しては、来所時は何らかの形で9割近くが職業に従事している。現在の職業では、約7割が建設業関係に仕事に従事している。高齢者特別清掃事業にのみ従事と警備業・サービス業・清掃業等の仕事に従事が約3割となっている。一方、職歴を見ると、建設関係の経験者が約9割以上となっている。
- 来所者の多くが、現職や職歴において建設業の経験を持つ労働者であり、高齢者特別清掃事業が地域の労働者にとっての雇用の下支えになっている。また、清掃、警備、サービス、運輸などの職種は、センターが積極的に求人開拓を進めてきた分野であり、今後も将来に向けたキャリア形成や職種転換の講習など、支援の充実・強化が求められている。

第10表 2021年度(令和3年度) 労災相談・労災立替等 実施状況

				1	 災			係		相	彭	ŧ	等		労		災		立		替
	新	規	相	談	貸付	労働 者	だに 関	わるす	相談 及	び事系	务 手 続	貸付労働者	が以外の相談					貸付	補償	費給付	寸 請 求
	記	录 処理票	小	計	代 理 請	求に関	わる相 <sup>談</sup>	炎、連 絡	調 整 事 務	一括貸付	労災関係	労災関係	事務手続	合 計	新 規 貸 付	貸 付 打 切			療 養 費	休業補償	障害補償
					療養費	休業補償	障害補償	その他	小 計	等の相談	の相談	の相談等	の相談等				実 人 数	日 数	(7号)	(8号)	(10号)
4月	1	0		1	0	16	2	4	22	2	51	65	65	206	0	1	4	112	0	4	0
5月	1	0		1	0	8	1	1	10	1	37	67	73	189	0	0	3	80	0	4	0
6月	1	0		1	0	18	0	4	22	0	60	110	110	303	0	0	3	69	0	4	0
7月	(	0		0	0	12	15	3	30	3	55	69	68	225	0	0	3	76	0	5	1
8月	(	4		4	0	9	5	2	16	0	31	64	64	179	0	1	3	51	0	2	0
9月	2	0		2	0	6	6	2	14	0	34	58	58	166	0	0	2	26	0	2	0
10月	2	2		4	9	13	7	2	31	4	61	136	133	369	1	0	3	32	0	3	1
11月	(	4		4	7	8	3	0	18	2	38	64	64	190	0	1	3	58	1	3	0
12月	2	1		3	0	6	2	2	10	1	26	54	54	148	0	1	2	118	0	1	0
1月	(	3		3	0	6	0	0	6	0	13	53	53	128	0	0	1	42	0	1	0
2月	2	3		5	1	4	0	1	6	1	16	46	46	120	0	0	1	17	0	0	0
3月	(	3		3	1	3	0	0	4	0	17	59	59	142	0	0	1	8	0	0	0
年度合計	11	20		31	18	109	41	21	189	14	439	845	847	2,365	1	4	5	689	1	29	2
前年度計	13	15		28	6	121	21	16	164	76	610	582	602	2,062	6	8	13	1,183	6	54	4
前年度比	-15.4	% 33.3%	10	0.7%	200.0%	-9.99	95.2%	31.3%	15.2%	-81.6%	-28.0%	45.2%	40.7%	14.7%	-83.3%	-50.0%	-61.5%	-41.8%	-83.3%	-46.3%	-50.0%
前々年度計	- 29	23		52	57	383	34	70	544	333	1,023	911	821	3,684	11	12	17	1,862	8	107	3
前々年度比	-62.1	% −13.0%	-40	0.4%	-68.4%	-71.5%	20.6%	-70.0%	-65.3%	-95.8%	-57.1%	-7.2%	3.2%	-35.8%	-90.9%	-66.7%	-70.6%	-63.0%	-87.5%	-72.9%	-33.3%
年度計画	Ī			36							2,0	000									

※処理票とは、相談内容が継続性を伴わず、その場で解決・終結に至るもの。

第11表 令和3年度(2021年度) 労災休業補償給付立替貸付状況

		貸	付	状	ž	兄		(B)		(C)	差額預り金	(D)	(E)	(F)	債 権 残 高
月	日々	? 貸 付	一 招	昏 貸 付		計 (A)	入 会	金 状 況	差	額 支 払	前年度繰越額	差額預り金増減	財団回収金額	債 権 増 減	前年度繰越額
	件数	金 額	件数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金 額	71,833	D=B-C-E	E=B-C-D	F=A-E	104,000
4月	18	529,000	1	50,000	19	579,000	4	1,033,400	2	165,081	311,152	239,319	629,000	-50,000	54,000
5月	14	364,000	0	0	14	364,000	2	481,428	2	182,444	285,136	-26,016	325,000	39,000	93,000
6月	12	324,000	0	0	12	324,000	3	621,960	4	317,732	150,364	-134,772	439,000	-115,000	-22,000
7月	10	354,000	0	0	10	354,000	3	580,244	3	240,604	120,004	-30,360	370,000	-16,000	-38,000
8月	8	232,000	0	0	8	232,000	1	217,248	2	134,544	78,708	-41,296	124,000	108,000	70,000
9月	6	128,000	0	0	6	128,000	1	271,188	1	78,708	116,188	37,480	155,000	-27,000	43,000
10月	5	140,000	0	0	5	140,000	3	710,424	1	9,024	411,588	295,400	406,000	-266,000	-223,000
11月	7	232,000	2	40,673	9	272,673	2	244,944	2	134,236	382,296	-29,292	140,000	132,673	-90,327
12月	7	555,000	0	0	7	555,000	0	0	3	382,296	0	-382,296	0	555,000	464,673
1月	6	168,000	1	5,000	7	173,000	0	0	0	0	0	0	0	173,000	637,673
2月	3	68,000	1	10,000	4	78,000	5	791,630	4	282,957	0	0	508,673	-430,673	207,000
3月	1	32,000	0	0	1	32,000	0	0	0	0	0	0	0	32,000	239,000
年度合計	97	3,126,000	5	105,673	102	3,231,673	24	4,952,466	24	1,927,626	0	-71,833	3,096,673	135,000	239,000
前年度計	209	5,291,000	2	55,460	211	5,346,460	51	8,090,524	60	3,197,643	71,833	-426,579	5,319,460	27,000	104,000
								労働	動者福利厚	生準備金繰入額	0			債務免除額	0
		-	-	-		-		-	-	次年度繰越額	71,833		-	次年度繰越額	104,000
前々年度計	382	8,734,000	8	213,810	390	8,947,810	112	13,555,580	98	4,248,350	498,412	351,420	8,955,810	-8,000	77,000
									動者福利厚	生準備金繰入額	0			債務免除額	0
								次年度繰越額	498,412			次年度繰越額	77,000		

第12表 令和3年度(2021年度) 医療、緊急措置相談状況

	案 内					医	療	支 拮	爰				ティッシュ等と	緊			急			措			置		ħ	1		談
	(医療機関		傷テープ		処 置		シュ等			救急車	血圧	測 定	血圧測定を除く	短	期宿		宿	泊	•	援	助	簡宿	疾病	予防	援助			
	を除く)	早朝	事務所	合計		マスク	ティッシュ	依 粮	案 内	依 頼	人 数	回 数	合 計	相談	依 頼	宿泊	相談	応 募	依 頼	宿泊	一部負担	サポ協	物品	洗面セット	合 計	相 談	措置	返戻
4月	155	0	1,200	1,200	25	0	3,000	166	134	1	2,645	5,280	1,526	1	0	0	130	56	51	51	51	6	0	50	50	12	5	4
5月	137	0	700	700	36	0	1,000	159	115	0	2,394	4,781	1,010	2	0	0	37	7	4	4	4	18	27	20	47	7	3	2
6月	183	0	900	900	38	0	2,500	149	156	3	2,799	5,583	1,246	8	0	0	108	43	41	41	41	6	5	45	50	7	4	3
7月	174	0	1,000	1,000	42	0	2,000	148	136	1	2,499	4,989	1,327	3	0	0	124	44	38	38	38	7	26	44	70	7	2	2
8月	170	0	700	700	49	0	1,500	145	140	1	2,271	4,531	1,035	7	3	3	104	38	34	34	34	2	55	36	91	7	3	2
9月	190	0	800	800	52	0	2,500	141	150	3	2,342	4,671	1,146	7	1	1	116	48	41	41	41	6	2	46	48	8	3	1
10月	234	0	900	900	44	0	1,500	151	172	2	2,632	5,054	1,269	3	0	0	109	41	40	39	40	3	41	39	80	8	5	2
11月	187	0	600	600	38	0	2,500	149	132	1	2,070	4,126	920	4	2	2	132	56	55	55	55	5	9	53	62	10	5	3
12月	143	0	500	500	43	0	1,500	154	123	0	1,790	3,568	820	6	4	3	112	49	46	46	46	6	20	48	68	6	4	2
1月	163	0	600	600	47	0	2,000	137	98	1	1,721	3,427	883	2	0	0	110	45	40	39	39	6	18	41	59	6	3	0
2月	138	0	600	600	33	0	2,000	142	112	1	1,616	3,221	888	1	0	0	21	0	0	0	0	5	11	3	14	3	1	1
3月	124	0	500	500	46	0	2,500	167	103	0	2,059	4,102	816	6	2	2	89	34	32	32	32	3	22	34	56	5	3	1
年度合計	1,998	0	9,000	9,000	493	0	24,500	1,808	1,571	14	26,838	53,333	12,886	50	12	11	1,192	461	422	420	421	73	236	459	695	86	41	23
前年度計	1,485	0	9,300	9,300	439	0	27,000	1,949	1,203	6	30,067	59,798	12,897	34	10	10	1,190	467	437	435	437	131	230	517	747	68	48	21
前年度比	34.5%		-3.2%	-3.2%	12.3%		-9.3%	-7.2%	30.6%	133.3%	-10.7%	-10.8%	-0.1%	47.1%	20.0%	10.0%	0.29	6 -1.3%	-3.4%	-3.4%	-3.7%	-44.3%	2.6%	-11.2%	-7.0%	26.5%	-14.6%	9.5%
前々年度計	1,645	40	9,002	9,042	750	18,150	21,500	2,298	1,541	10	34,284	67,979	13,641	45	15	15	2,606	1,098	1,030	1,029	1,030	171	152	1,120	1,272	76	46	25
前々年度比	21.5%	-100.0%	0.0%	-0.5%	-34.3%	-100.0%	14.0%	-21.3%	1.9%	40.0%	-21.7%	-21.5%	-5.5%	11.1%	-20.0%	-26.7%	-54.39	6 -58.0%	-59.0%	-59.2%	-59.1%	-57.3%	55.3%	-59.0%	-45.4%	13.2%	-10.9%	-8.0%
年度計画					3	6,000		1,900	1,2	00	30,000									1,000		140			1,200		48	

※ 2020年3月9日よりコロナ禍のマスク需要増と生活様式の変化によりマスク配布とりやめ

※宿泊援助件数が大幅に減少している月は、コロナ感染防止により紹介が停止したため

※短期宿泊とは、相談業務において緊急性・必要性を考慮し、負担を伴わない措置を講じるもの

※宿泊援助とは、労働力の回復を通じて就労に繋げるため、宿泊場所を措置するもの

第13表 令和3年度(2021年度) 労働関係、生活身上相談状況

	労			働			関		係	Ę		相		談	生		活		身	ł		上		相		談	そ 0	の 他
	就	ガ 雇	用	保険	建	退	共	手	帳	修了証	再交付	建設業	合 計		戸籍(	主民票	健 保	• 年 金	住 宅	所 得	郵便物	受け渡し	尋ね人	落し物	숨 計		か 洒 者	その他
	関係	系相	談号	手 続	窓口	その他	案内計	相談	手 続	相談	手 続	建設業 入門案内	н п	手 続	相談	手 続	相談	手 続	相談	証明	受 付	渡し	4,107	74013	н п	手 続	W/A A	( 0) [5]
4月	212	2	67	0	55	2	57	1	1	31	23	0	368	24	40	2	39	0	37	0	20	26	0	4	166	2	18	243
5月	169	9	75	0	58	17	75	2	2	27	13	0	348	15	29	1	24	0	33	1	20	21	1	4	133	1	16	242
6月	163	3	88	0	51	41	92	3	3	41	21	0	387	24	39	1	35	0	48	0	39	31	0	2	194	1	30	360
7月	156	6	55	0	31	15	46	2	2	32	14	0	291	16	43	5	35	0	52	0	16	12	4	11	173	5	24	300
8月	144	4	47	0	43	6	49	1	1	29	18	0	270	19	36	0	38	0	43	1	11	18	0	3	150	0	39	293
9月	192	2	38	0	39	0	39	1	1	28	18	2	300	19	36	1	40	0	60	0	12	24	0	3	175	1	20	302
10月	211	1	99	0	76	17	93	1	1	63	10	0	467	11	81	3	71	0	88	0	23	22	5	2	292	3	33	363
11月	167	7	47	0	33	4	37	0	0	53	9	1	305	9	60	2	55	2	54	0	12	4	1	5	191	4	22	282
12月	168	3	33	0	31	0	31	1	1	33	13	0	266	14	45	2	25	0	55	0	16	23	0	6	170	2	15	299
1月	138	3	36	0	33	2	35	1	1	32	7	0	242	8	46	0	31	0	50	0	14	13	0	3	157	0	18	232
2月	197	7	25	1	23	0	23	2	1	28	8	1	276	10	37	4	25	1	33	0	22	13	2	2	134	5	19	317
3月	218	3	46	0	46	0	46	1	1	41	16	0	352	17	47	4	27	4	57	3	12	15	1	3	165	8	21	307
年度合計	2,135	5	656	1	519	104	623	16	15	438	170	4	3,872	186	539	25	445	7	610	5	217	222	14	48	2,100	32	275	3,540
前年度計	1,994	4	418	0	295	86	381	15	7	418	206	0	3,226	213	960	96	302	3	456	2	398	382	11	42	2,553	99	253	2,914
前年度比	7.19	%	56.9%		75.9%	20.9%	63.5%	6.7%	114.3%	4.8%	-17.5%		20.0%	-12.7%	-43.9%	-74.0%	47.4%	133.3%	33.8%	150.0%	-45.5%	-41.9%	27.3%	14.3%	-17.7%	-67.7%	8.7%	21.5%
前々年度計	3,388	3	487	2	138	123	261	76	17	539	240	19	4,770	259	541	15	521	4	626	4	174	171	44	74	2,155	19	594	4,397
前々年度比	-37.09	1%	34.7%	-50.0%	276.1%	-15.4%	138.7%	-78.9%	-11.8%	-18.7%	-29.2%	-78.9%	-18.8%	-28.2%	-0.4%	66.7%	-14.6%	75.0%	-2.6%	25.0%	24.7%	29.8%	-68.2%	-35.1%	-2.6%	68.4%	-53.7%	-19.5%
年度計画	2,	,400						40		480					480		300		480			400						

第14表 令和3年度(2021年度)

	短期	宿泊措置	宿	泊	援	助	労働者疾病援 助	生 沼	援	助給	付 金		合	計	
	措		措	置	一部	負 担 金	物 品	措		返	•	措		返	戻
	件 数	金額	件 数	金額	件 数	金 額	合 計	件 数	金額	件 数	金額	件 数	金 額	件 数	金額
4月	0	0	51	41,820	51	25,500	50	5	6,000	4	5,000	56	47,820	55	30,500
5月	0	0	4	3,280	4	2,000	47	3	5,000	2	4,000	7	8,280	6	6,000
6月	0	0	41	33,620	41	20,500	50	4	5,500	3	6,000	45	39,120	44	26,500
7月	0	0	38	31,160	38	19,000	70	2	3,000	2	2,500	40	34,160	40	21,500
8月	3	3,020	34	27,880	34	17,000	91	3	4,500	2	4,000	40	35,400	36	21,000
9月	1	820	41	33,620	41	20,500	48	3	4,500	1	2,000	45	38,940	42	22,500
10月	0	0	39	31,980	40	20,000	80	5	9,000	2	4,000	44	40,980	42	24,000
11月	2	1,640	55	45,100	55	27,500	62	5	8,500	3	5,000	62	55,240	58	32,500
12月	3	3,020	46	37,720	46	23,000	68	4	6,000	2	3,000	53	46,740	48	26,000
1月	0	0	39	31,980	39	19,500	59	3	6,000	0	0	42	37,980	39	19,500
2月	0	0	0	0	0	0	14	1	2,000	1	2,000	1	2,000	1	2,000
3月	2	1,640	32	26,240	32	16,000	56	3	4,100	1	2,000	37	31,980	33	18,000
年度合計	11	10,140	420	344,400	421	210,500	695	41	64,100	23	39,500	472	418,640	444	250,000
前年度計	10	8,760	435	356,700	437	218,500	747	48	80,000	21	38,500	493	445,460	458	257,000
前年度比	10.0%	15.8%	-3.4%	-3.4%	-3.7%	-3.7%	-7.0%	-14.6%	-19.9%	9.5%	2.6%	-4.3%	-6.0%	-3.1%	-2.7%
前々年度計	15	14,260	1,029	843,780	1,030	515,000	1,272	46	74,300	25	39,700	1,090	932,340	1,055	554,700
前々年度比	-26.7%	-28.9%	-59.2%	-59.2%	-59.1%	-59.1%	-45.4%	-10.9%	-13.7%	-8.0%	-0.5%	-56.7%	-55.1%	-57.9%	-54.9%
年度計画			1,000				1,200	48							

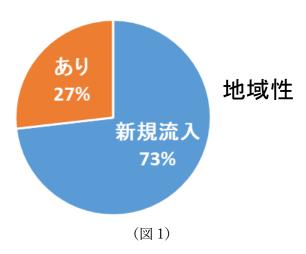
<sup>※</sup> 短期宿泊とは、相談業務において緊急性・必要性を考慮し、負担を伴わない措置を講じるもの

<sup>※</sup> 宿泊援助とは、労働力の回復を通じて就労に繋げるため、宿泊場所を措置するもの

#### 新規支援 82件

#### 〈傾向〉

- ・他機関連携(関係機関からの依頼/関係機関への依頼)ケースが目立ち 75.6%を占めた(82 人中 62 人)。
- ・西成区近辺の日雇労働市場で就労したことがない方の相談が 73.2%を占めた (82 人中 60 人、図 1)。他府県で日雇い労働をしていたが仕事がなくなった、あるいは 1 年以内に日雇い労働を始めた など状況は様々であった。
- ・求職のために来所した方が昨年度は 61.2%だったところ、今年度は 47.5%となった (図 2)。また、建設業未経験者も全体の 29.3%を占めていた (82 人中 24 人、図 3)。



来所時の	主訴	
求職	39	47.5%
技能講習	19	23.2%
生活	19	23.2%
医療	3	3.7%
資格	1	1.2%
労災相談	1	1.2%
計	82	100.0%

(図2)

#### 継続支援 747 件

初来所時の問題は解決したものの、新たに問題が発生する、もしくは来所時に抱えていた他の問題に直面した労働者が期間を空けて再来し、継続支援となるケースが複数ある。複数の問題を抱えている場合、問題解決のためにはかなりの時間を要するため、中長期的な関わりが必要となる。

# なし 29% あり 71% (図3)

#### 〈職業紹介状況〉

新規支援対象者と前年度までに計上した継続 支援対象者のうち、職業紹介に至ったケースは67 件となった(図4)。なお、今年度新規登録者に対 し22件の職業紹介を行った。

建設業以外(清掃、警備、介護、製造、運輸)の職業紹介に至ったケースは62.7%となった。

職業紹介												
建設業	25	37.3%										
清掃業	25	37.3%										
警備業	12	17.9%										
介護業	2	3.0%										
製造業	1	1.5%										
運輸業	1	1.5%										
その他	1	1.5%										
計	67	100.0%										

(図4)

#### 〈居住支援〉

新規支援対象者の内、来所時に野宿していたケースが3件あったが支援後野宿生活から脱却した。ま た、関係機関の協力を経て、より本人の希望に合った住まいを得るに至ったケースが8件ある。

#### 〈新規支援・終結状況〉

支援の結果、仕事あるいは医療・住居・食事を確保できる状態となり、来所時の課題が解決したと判 断したケース、または一定期間本人の来所がないため、問題解決に至ったと判断したケースが34件、 継続中のケースが48件ある。

#### 〈継続支援・終結状況〉

前年度までの総合支援登録者のうち問題解決した、あるいは一定期間本人の来所がないため問題解 決に至ったと判断したケースが34件ある。

### 2021年度総合支援の概況

■新規相談	
新規相談件数	82 件
(新規相談者)平均年齢	51.6 歳
最年少	21 歳
最高齢	81 歳

### ■継続相談

前年度以前からの相談者	83 人
継続相談件数	747 件
平均相談回数	6.8 回
最小相談回数	1 🗓
最大相談回数	39 回

#### ■相談合計数

相談実人数	165 人
延べ相談件数	829 件

居所		
アパート	30	36.6%
三徳寮	21	25.6%
簡宿	13	15.8%
その他	5	6.1%
白雲寮	4	4.9%
飯場	3	3.7%
野宿	3	3.7%
すまいる	2	2.4%
ネットカフェ	1	1.2%
計	82	100.0%

年齢			
20~29歳	5	6.1%	
30~39歳	8	9.8%	
40~49歳	19	23.2%	
50~59歳	27	32.9%	
60~69歳	19	23.2%	
70~79歳	3	3.6%	
80~81歳	1	1.2%	
計	82	100.0%	

#### 2022年3月31日現在

	- 1 - 7 .		
関係機関との連携			
三徳寮	27	43.5%	
どーん!と西成	6	9.8%	
サポーティブハウス	5	8.1%	
白雲寮	4	6.5%	
はぎさぽーと	4	6.5%	
保護観察所	3	4.8%	
萩まち不動産	3	4.8%	
すまいる	2	3.2%	
大阪市福祉局	2	3.2%	
西成区役所分館	1	1.6%	
簡宿	1	1.6%	
いちょうの会	1	1.6%	
社医C	1	1.6%	
路木	1	1.6%	
釜ヶ崎支援機構	1	1.6%	
計	62	100.0%	

### モデルケース1 労災後の支援

#### ■来所の契機

- ・労災休業補償費の立替支援を求めて来所。
- ・約半年の療養で治癒、立替期間を終え、再 就労の支援を行なった。
- ■本人の訴え・現状
- ・仕事を紹介して欲しい。
- ・再就職に向け履歴書の書き方を教えて欲しい。
- ■センターの支援
- · 求職相談 · 生活相談
- ・はぎまち不動産との連絡調整
- ・西成保健福祉センターとの連絡調整
- ・カウンセリング (履歴書添削、面接練習)
- ·職業紹介(清掃業)



#### ■所見・判断

- ・後遺症はなく、半年間にわたる療養期間により 多少の体力の衰えはあるが軽作業等であれば問 題なく就労出来ると判断した。
- ・休業補償期間が終了しており、生活費の工面が 難しい状況であったため、生活保護を受給する ことで、落ち着いて就職活動が出来るのではな いかと助言した。
- ・簡易宿泊所に長年住んでおり、住民票を設定していない状態であったため、生活保護の申請がスムーズに進むよう、アパートへの引っ越しを提案した。

#### ■支援後の関わり

落ち着いた環境で就職活動を続け、面接を経て 清掃業の仕事に採用された。本人は週2日から始 めて、少しずつ就労日数を増やしていくつもりで ある。本人への聞取りを通して、安定して就労で きているか半年ほど見守りを続けていく。

### モデルケース2 高齢者

#### ■来所の契機

- ・日雇い労働者で度々センターに来所し求人 に応募・紹介の実績あり。他業種へ職種転 換するため相談に来所。
- ■本人の訴え・現状
- ・仕事を紹介して欲しい。
- ・建設業に従事してきたが、長年にわたり体 に負荷のかかる仕事を続けてきたため腰痛 と指先にわずかにしびれがある。
- ・別業種への転換を望んでいる。
- ・貯金がいくらかあり、2か月程度は問題なく生活出来る。



#### ■所見・判断

- ・本人との面談を通し、介護の仕事に興味があることがわかった。建設業とは異なるが体への負担はあることを説明するも、本人の意思は変わらなかった。 実際の業務がよりイメージしやすいため、介護業務体験講習をすすめたところ、本人受講を希望。
- ・履歴書の作成にあたり不安を感じているため、カウンセリングにて履歴書添削を実施。

#### ■センターの支援

- · 求職相談 ・技能講習(介護業務体験講習)
- ・カウンセリング(履歴書添削) ・職業紹介(介護)
- ■支援後の関わり

面接を経て介護の仕事に採用された。これまで従事 してきた仕事と全く異なる作業内容であるため負担 はいくらかあるが、やりがいをもって仕事をしてい る。事業所への聞取りや本人からの連絡を通して、安 定して就労できているか見守りを続ける。

## モデルケース3 刑余者

#### ■来所の契機

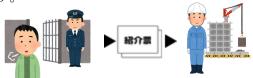
- ・保護観察所の誘導で来所。
- ・刑務所を出たばかりで、頼る先なく所持金 もわずかしかなく、越年の相談。
- ■本人の訴え・現状
- ・体力には自信があるが、頼る先がない。
- ・年末なので、住む所と仕事を見つけたい。
- ■所見・判断
- ・無事に年を越せるよう支援することが最優 先。
- ・住み込みの仕事を紹介することで職住を解 決するか、サポーティブハウス等生活支援 施設を頼り年末年始を過ごせるようにする か、早急に調整を要する。

#### ■センターの支援

- ・サポーティブハウス連絡協議会に協力を依頼。仕事がみつからなければ、受入可との 回答を得る。
- ・受入協力事業所に対し協力を依頼。Z 社から住み込み・一般土工の契約で受入可との回答を得る。
- ・本人に選択肢を提示したところ、働けるならすぐに働きたいとのことで、Z 社に紹介した。

#### ■支援後の関わり

雇用主への3か月後の追跡調査にて、就労を継続していることを確認。真面目に働いてくれており、会社としても助かったとの回答あり。



### モデルケース4 流入者

#### ■来所の契機

- ・救護施設にて生活している。館内作業など を通し、少しずつ自信をつけ就職意欲が高 まり、求職相談のために施設職員同行の上 来所。
- ■本人の訴え・現状
- ・仕事を紹介して欲しい。
- 建設業は未経験。
- ・30 代頃に精神の不調をきたし退職した。家 賃が払えなくなり、しばらくは知り合いの 家を転々としていたが、ここ 20 年程はア ルミ缶集めをしつつ野宿していた。

施設

- ・家族とは絶縁しており、頼ることが出来ない。
- ・体調を崩し路上で倒れていたところ病院へ ・搬送され、退院後に救護施設に入所。

#### ■所見・判断

- ・清掃業に関心があるが、現場で必要なスキルがな く不安を感じている様子であったため、清掃体験 講習とベッドメイキング講習を受講。
- ・面談時には精神的に不安定な様子は見受けられなかったが、施設職員によると、気分の浮き沈みがあるとのこと。精神的なフォローなど生活面での支援は救護施設が、就労面での支援はセンターが分担して支援することで合意した。

#### ■センターの支援

- ・求職相談 ・カウンセリング (履歴書添削)
- ・技能講習(清掃体験講習、ベッドメイキング講習)

#### ■支援後の関わり

他機関の紹介を経て施設内清掃の仕事に採用された。施設職員への聞取りによると、半福祉半就労で 現時点では問題なく就労出来ているようである。し ばらくの間は施設職員や本人からの連絡を通して、 安定して就労できているか見守りを続ける。